

「Terrace Mall 湘南」概要

2011年8月25日

参考資料

■ 「Terrace Mall 湘南」とは

JR辻堂駅北口周辺地区都市再生事業である湘南C-X(シークロス)の複合都市機能ゾーン(A-1街区)で開発している大型商業施設です。

湘南C-Xは、関東特殊製鋼の工場跡地における大規模複合都市整備事業であり、約25haの広大な土地に商業、産業拠点、住宅、医療施設等を一体的に整備する大規模複合都市整備事業です。A-1 街区に開発中の当施設は、JR辻堂駅北口駅前広場に面した約6haの敷地に立地する、湘南C-Xの中核施設です。

延床面積約170,000㎡(地上4階、一部5階建て)、店舗面積約63,000㎡、総店舗数281店と、地域最大級の商業施設開発であり、当社の商業開発案件としても過去最大規模となります。



■ 商圈とターゲット

商圈人口は、3km 圏約20万人を中心に、10km圏約119万人の規模。辻堂駅直結であることから、鉄道沿線となる広域圏(鎌倉市～小田原市)からの集客も見込まれるほか、南北を走る主要幹線道路(国道1号線、同134号線)からのアクセスも良好です。藤沢市、及び隣接する茅ヶ崎市の足元圏は、居住人口が年々増加傾向にあるとともに、所得水準が高く、消費牽引力のある30代・40代が多く居住する成長性のあるエリア。また、事前調査(※)から、リーズナブルな商品に対する満足度は高いものの、センスの良い商品や、自分の好きなショップやブランドの商品購入へのニーズが伺えます。

ターゲットは、日常へのこだわりや自分スタイルを大切にし、家族や友人とのゆとりあるライフスタイルを志向する「湘南マインドを愉しむ人々」。高感度なミセスや流行に敏感なヤング層、団塊ジュニアファミリー、ゆとりあるシニア層まで、幅広い世代に対応します。

※2010 年当社実施インターネット調査「地元商業地に対する満足度(藤沢市・茅ヶ崎市)」



マーケット概要



沿線商圈

■ 湘南の心地よさを感じるオリジナリティ溢れる施設環境

湘南らしい広い空や海、風を感じることができる建築と緑、光、風が融合した外部・内部それぞれの空間は、訪れた人々に憩いや潤い、和みなど、様々な時間を提供します。駅前広場に面したエリアには段丘状の空間を設け、緑溢れる植栽により湘南の季節感を演出。施設内部の共用空間は、白を基調に緑や自然素材を随所に取り入れたシンプルでスタイリッシュなデザインとし、自然光を取り入れたダイナミックなデザインのアトリウムが開放感と賑わい感を創出します。



施設外観イメージ

<施設環境イメージ>



モール(共有空間デザイン)



フードコート



湘南ヴィレッジ



駅からのアプローチと駅前広場空間

■施設概要

※画像は全てイメージです

所在地	神奈川県藤沢市辻堂神台1丁目3番1号
敷地面積	約59,150㎡
延床面積	約170,000㎡
店舗面積	約63,000㎡
店舗数	全281店舗
建物規模	地上4階建て 一部5階建て(立体駐車場除く)
駐車場	約2,500台
駐輪場	約3,000台
開業日	2011年11月11日(金)
定休日	不定期
営業時間	物販・サービス店舗 10:00～21:00 / 飲食店舗 11:00～23:00 ※一部店舗は営業時間が異なります
アクセス	JR東海道本線辻堂駅北口直結
事業主	特定目的会社湘南辻堂インベストメント
事業者代表	住友商事株式会社
運営受託	住商アーバン開発株式会社
オフィシャルサイト	http://iza-shonan.jp/

事業運営の推進主体について

事業運営の推進主体として住友商事と100%出資の運営管理会社である住商アーバン開発が計画段階から一体となり、継続的に住友商事グループが事業運営する体制を構築します。

住友商事グループは、1976年より商業施設事業に参画し、立地環境に応じて都市型複合施設、都市リゾート型施設、地域密着の駅前立地型施設など、地域特性に合わせた多様な商業施設を開発してきました。現在では、東京、大阪、仙台を中心に全国で15施設を運営しています。本プロジェクトにおいても、辻堂駅前を核とした市街地全体が活性化することを目指し、地域との連携を機軸とした開発・運営を進めてまいります。